

令和5年度特別支援教育充実セミナー

豊浦町における支援ファイル 作成の取組について

豊浦町
教育委員会
町民課
総合保健福祉施設



豊浦町について



- ✓ 人口 3,572人 (R5.10.1現在)
- ✓ 胆振地区の西端に位置
- ✓ 生活圏域は豊浦町～伊達市
(片道30分～50分)
まで足を延ばすことが多い
- ✓ 二次医療圏 豊浦町～室蘭市
(片道60分～80分)
- ✓ 出産は室蘭市まで行かないとできない

豊浦町について（補足）



- ✓ ホタテ養殖が主力産業
- ✓ SPF豚生産量は道内No.1



- ✓ いちごは豊浦町のアイデンティティ
- ✓ 日本一の秘境駅「小幌」



児童発達支援 関係機関

(子育て・保健分野・医療機関)

	施設名
認定こども園	認定こども園青空
保育所	大岸保育所
認可外保育園など	シュタイナースクールいずみの学校こどもの園
	幸豊の杜保育園2015（大岸地区）
	おひさま（礼文華地区）
地域子育て支援センター（認定こども園青空内）	
子育て世代包括支援センター（保健センター内）	
町外医療機関	太陽の園発達診療相談室（伊達市）



児童発達支援 関係機関

(教育分野)

R5.10.1現在

公立小学校 (特別支援学級)	豊浦小学校 (特別支援学級)	105名 (内12名)
	大岸小学校 (特別支援学級)	12名 (内1名)
	礼文華小学校 (特別支援学級)	10名 (内2名)
公立中学校 (特別支援学級)	豊浦中学校	65名 (内2名)
学校法人	シュタイナー学園初等部	68名【1学年13名】
	中等部	40名【1学年15名】
NPO法人	シュタイナースクールいずみの学校 高等学園	26名【1学年5名】
	放課後児童クラブ*	



児童発達支援 関係機関

(障がい福祉分野)

児童発達支援	あいあいROOM	伊達市
	ほみいくらぶ	洞爺湖町
	まあぶるキッズ	伊達市
放課後等デイサービス	放課後等デイサービスぽけっと	豊浦町
	ほみいくらぶ	洞爺湖町
	まあぶる	伊達市



※豊浦町には放課後等デイサービス事業所1ヶ所のみ

～ いままでの検討内容 ～

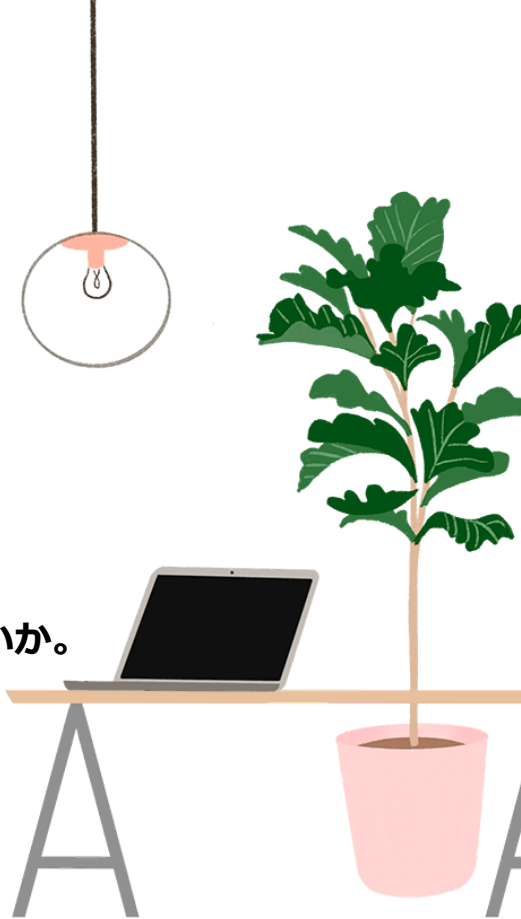
同じような支援ファイルを作成しているのではないか。

把握している情報に抜けが生じているのではないか。

保護者も時間の経過とともに支援内容を忘れてしまうのではないか。

引継ぎができていないことで、別の支援が必要となったときに困るのではないか。

疑問に思い検討した結果
⇒ 支援ファイルの作成へ



～ 発達障がい児支援ファイル作成にあたってのヒアリング ～

何に困っているのか。

どのような支援ファイルを使用しているのか。

支援ファイルを統一できるのか。



発達障がい児に関する支援ファイル（記録様式）

- 保育分野 ⇒ 決まった様式に記録していない
（担当者ごとに記録をしている）
- 教育分野 ⇒ 個別の教育支援計画・個別の指導計画
- 保健センター ⇒ 児童フェイスシート
- 障害福祉 ⇒ 障害福祉サービス障がい児調査票など



主な課題（保育分野）

小学校への引継ぎには保育要録を使用しているが、
発達障がいには触れられていない。

（後になってから担任から確認されることがある）

発達障がいの疑いのある子どもの言動について、
保育要録の引継ぎと日常の記録を口頭で引継ぎをしている。

（発達障がいについては、全て口頭となる）

発達障がい、特別支援についての理解を得ることが難しい。



主な課題（教育分野）

小学校で初めて発達障がい疑われた児童が在籍した場合は、
認定こども園・保育園へ問い合わせることがある。

個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成に要する
時間が膨大である。



主な課題（保健センター分野）

保護者が発達障がいに関する理解がない場合、
保護者との共有や理解を得ることが難しい。

療育手帳や障害年金取得についてが相談があった際、
相談歴がない児童の、情報提供が難しい。



主な課題（障がい福祉分野）

障がい児調査項目の聞き取りでは、認定こども園・保育園からの事前情報がないので、一から保護者に聞き取りを行っている。

障がい福祉サービスの相談なのか、療育手帳等の相談なのか保護者自身分かっていないことがある。



その他 主な課題

支援ファイルを統一して使用するなら、
現場担当者の負担とならないようにする。

学校間同士では、個別の教育支援計画・個別の指導計画を
使用しているため、情報連携・引継ぎができています。

保護者の同意が前提となる。

～ 発達障がい支援における引継ぎ判定 ～

- △ 保健センター ⇔ 保育分野
- × 保育分野 ⇒ 小学校
- × 小中学校 ⇔ 保健センター・障がい福祉分野
- 小学校 ⇒ 中学校 ⇒ 高等学校等



ならば！

保育分野から小学校への引継ぎを強化しよう！

保護者も本人も後から確認できるようにしよう！

重複している情報は省略しよう！

不足している必要な情報をまとめよう！

⇒ 豊浦町こども支援シートの作成！



豊浦町こども支援シート

この支援シートは、学校や支援関係者とお子さんの情報共有や記録等に使用していただくものです。

記入年月日 年 月 日

① 児氏名	フリガナ		② 性別	男・女	③ 生年月日	() 歳
④ 通所・受診歴・保導歴等	病歴名	受診開始時期		年 月 日	診断名等	
	病歴名	受診開始時期		年 月 日	診断名等	
⑤ 手帳の有無	療育手帳	無・有	交付年月日	年 月 日	等級等	A・B
	身体障害者手帳	無・有	交付年月日	年 月 日	等級等	第 種 級
	障害名					
⑥ 施設後の利用状況 (利用している制度に就)	☐ 特別児童扶養手当 ☐ 児童扶養手当 ☐ 障害児福祉手当 ☐ その他()					
⑦ 障害福祉サービスの利用歴	☐ 児童発達支援() ☐ 放課後デイ() ☐ 居宅介護()					
	☐ 短期入所() ☐ 施設入所() ☐ その他()					
⑧ 成長歴	出生時の体重 ㎏ 在胎週数 週 日					
	出生前後で気になったこと:					
	乳幼児期で気になったこと:					
⑨ 生活面 *当てはまる項目の□にチェック	食事	☐ 1人で食べられる ☐ 声かけが必要 ☐ 手拭いが必要				
	食事の道具	☐ はし ☐ スプーン、フォーク ☐ 手づかみ				
	食べ方	☐ 気になる事はない ☐ 立ち歩き ☐ ムラ食い ☐ 少食				
	服装	☐ 無 ☐ 有(詳細な状況:)				
	排泄	☐ 自立 ☐ 声かけ ☐ オムツ使用 ☐ トイレを嫌がる ☐ その他()				
	睡眠	☐ 自立 ☐ 声かけ ☐ 自力動作 ☐ その他()				
	上記以外で気になる事					
⑩ 発達等 *当てはまる項目の□にチェック	発語	☐ 単語 ☐ 2語文 ☐ 3語文 ⇨ 意味的な表出() ☐ オウム返しをする ☐ 独り言を言う ☐ イントネーションが不自然 ☐ その他()				
	発音	☐ 明確 ☐ 不明瞭()				
	理解面	☐ 理解面で気になる事がある()				
	行動面等	☐ 落ち着きがない ☐ 注意が持続しない ☐ 乱暴 ☐ 離席する ☐ 自己主張が強い ☐ 人見知りが強い ☐ 不安や恐怖心が強い ☐ くせ・こだわりがある ()				
	運動面	☐ 運動面で気になる事がある()				
	社会面	☐ 社会面で気になる事がある()				
	その他 気になること					
⑪ 入学にあたって心配な事						
⑫ その他						

この支援シート情報を支援関係者と共有・進学先等に引継ぐことに同意します。

年 月 日 保護者氏名

文章は必要最低限チェック方式に

必要な情報を集約

保護者も確認できるように



豊浦町こども支援シート利用の想定される場面

- ① 1歳6ヶ月児健診・3歳児健診で保健師と保護者が面談したとき
- ② 保育園で保育士と保護者が面談したとき
- ③ 保健センター、保健福祉係へ保護者から相談があったとき
- ④ 小学校・中学校で教員と保護者が面談したとき

⇒医療機関との連携を想定



今後の課題

いかに、早い段階から児童生徒の困り感を保護者へ伝えることができるか、理解を得ることができるか。

保護者や関係機関を含め、障がい福祉に関して何のサービスがあり、どこが窓口なのか分かりやすくする必要がある。



個別の教育支援計画・個別の指導計画の実態について ①

- ・各校で使用している様式がまちまち(共通に)
- ・特別な支援、配慮が必要と考える子どもの割合



(特支学級+支援員・介護員配置を含む)

A校3% B校21% C校33% D校40%

- ・支援員、介護員配置の子どもの

個別の教育支援計画 (3校中2校作成)

個別の指導計画 (3校全員作成) 未配置1校

- ・配置以外で校内委員会が支援・配慮が必要と判断した子ども

個別の指導計画 (一部作成2校、未作成1校)



個別の教育支援計画・個別の指導計画の実態について ②

追記しています。

- ・「個別の教育支援計画・個別の指導計画」の
校内における共有・活用状況の評価



4校とも5段階中の4（概ね）の評価

【コメント】

- ・ 共通理解のもと指導にあたるために活用
- ・ 実態交流、事例研修などに活用
- ・ 細やかな指導記録などが効果的
- ・ 交流学习の方法や時数などの記載が曖昧
- ・ P D C Aサイクルに課題



引継ぎの実態について ①

○年度末の引継ぎ以外に、情報共有や参観の場が

- ・ある 2校
- ・ない 2校



*年3回こども園との行事交流

4・8・12月…特支担当、CO、こども園担当

*年3回小中交流

12・1・2月…児童、保護者、小担任、中特支担任、中教頭



引継ぎの実態について ②

追記しています。

・措置変更、支援終了、進級、進学、就職などの段階で、

個別の教育支援計画・個別の指導計画等の適切な取り扱い

保護者との確認により、関係書類を関係者（機関・
進路先）に

引き継ぐのか？ 保護者に返却するのか？
コピーを残すのか？ 保管期間は？ 廃棄は？

* CO、校内委員会、管理職の確認

* 幼稚園幼児指導要録・保育所児童保育要録の活用は？



特別支援教育に関する教職員研修

①

◎ 豊浦町SSWを活用して

R4.5.20 子ども理解とその対応 中学校

R5.5.31 子ども理解とその対応 小学校

R5.7. 6 不登校、子ども・保護者理解 中学校



集団への不適応、不安をもっている発達障がいと

その周辺領域「愛着不形成、H S C（敏感すぎるタイプ）」

児童生徒群の理解とその対応



特別支援教育に関する教職員研修

②

○豊浦町特別支援教育協議会 「冬の研修会」

- ・ 外部講師（胆振教育局 特別支援教育
スーパーバイザーなど）を招いての研修会実施

○学習支援員(6)、介護員(2)研修会の実施(予定)

- ・ 障がい種別、状態やニーズに応じた適切な支援
- ・ 支援チームの一員としての連携・協働



機関連携・相談窓口 ①

○町特別支援教育コーディネーター会議

各校コーディネーター、保育所長、こども園長など

R4年度 年1度実施

(町教育支援委員会に向けて、実態交流。)

R5年度 年2回実施(4月末 実態交流、

11月 町教育支援委員会に向けて)

○パートナー・ティーチャー派遣事業の活用

○北海道立特別支援教育センターの巡回教育相談の活用

○町SSWと子ども・保護者・担任・管理職等との面談、相談



機関連携・相談窓口 ②

○町内機関訪問

こども園訪問 年3回

大岸保育所 年2回

認可外保育所おひさま 年1回

保健師、作業療法士、言語聴覚士、町教委アドバイザー

胆振西部児童デイサービス職員など

- ・ 観察と情報共有、保護者への働きかけの検討など

○町教育相談の周知と実施

- ・ 随時
- ・ 就学時の相談、在籍の変更相談など



機関連携・相談窓口 ③

新年度（R6）小学校入学のお子様（年長）の保護者の皆様へ

令和5年5月12日

教育相談のご案内



いつ? お子様をお迎えに来る少し前など 保護者の方の都合の良いとき	どこ? 子ども園や保育所で 公民館の教育委員会で
どのくらい? 30分でも1時間でも・・・	だれと? 教育委員会のアドバイザーと 園・保育所の先生や保健師さん といっしょに

ご希望がありましたら・・・

- ★子ども園や保育所、または教育委員会担当にお話してください。
- ★日時や相談者など、できるだけご希望に沿う形（事前にご確認いただいた上）で実施します。

発行：豊浦町教育委員会

お問合せ先：学校教育係 就学指導担当 高島 83-3954

子どもの観察



学校・保育所・こども園・
教育委員会・保健センター・
町SSWが情報共有



保護者への働きかけ



保護者の心配、悩みの
相談窓口を広く、身近に。



早期対応・改善へ



工程表

・ 関係機関への
取組の周知

1

・ 支援ファイルの素案作成
関係機関へヒアリングの実施

3

・ 豊浦町こども支援シート

5

より使いやすい
豊浦町こども支援シートを
目指して…

・ 先進事例の収集

2

・ 素案及びヒアリング
に対する意見集約

4

・ 関係機関及び
町民への周知

6